

## 手話に関するアンケート検討会 次第

日時：平成26年5月12日（月）

午前10時～11時

場所：鳥取県庁第15会議室

1 開会

2 障がい福祉課あいさつ

3 議事

手話に関するアンケートについて

4 閉会

手話に関するアンケート検討会 参加者名簿

所属等	氏名	備考
公益社団法人鳥取県聴覚障害者協会 事務局次長	戸羽 伸一	
公益社団法人鳥取県聴覚障害者協会 事務局長	石橋 大吾	
鳥取県手話通訳士協会	国広 生久代	
鳥取県手話サークル連絡協議会	藤井 貴子	
元鳥取県立鳥取聾学校長	後藤 裕明	

事務局

鳥取県障がい福祉課長	日野 力	(代理)小西室長
------------	------	----------

# 手話に関するアンケートについて

平成26年5月12日

障がい福祉課

## 1 目的

鳥取県では、昨年10月に成立した鳥取県手話言語条例に基づき、総合的・計画的に手話の普及、手話が使いやすい環境整備を進めるため、10年後の鳥取県が目指すべき方向性を示す「鳥取県手話施策推進計画」を策定することにしました。

この計画案の検討に当たっては、ろう者、手話通訳者等の経験談、県民の手話に対する認識などを考慮して、より効果的な計画を策定したいと考えています。

このアンケートは、これらの経験談、認識を把握するために実施するものです。

## 2 対象者

次の3区分を対象としてアンケートを実施します。

- (1) ろう者
- (2) 手話関係者（手話通訳者、手話奉仕員、全国手話通訳問題研究会鳥取支部、手話サークル）
- (3) 県民（県政参画電子アンケート※）

※ 県政の課題について、県民の意向を速やかに把握するため、公募選考の会員（約470名）がインターネットを通じて回答するアンケート調査

## 3 考え方

- (1) ろう者、手話通訳者等に対しては、手話に関する辛かった・困った経験談、嬉しかった経験談を聞く。
  - 辛かった経験談にはその社会（当事者の周囲の人達）が抱える課題が隠されている場合がある。その課題を解決するための考え方・施策を計画で位置付けていきたい。
  - 嬉しかった経験談を、課題解決のヒントとしたい。
  - あまり古い話だと現状とかけ離れている場合があるので、過去10年以内に限定。
- (2) 県民に対しては、手話学習への意欲等を聞く。
  - 手話学習ニーズ等を把握し、今後の手話普及の方向性を見極めた上で、その考え方・施策を計画で位置付けていきたい。
- (3) 設問はできるだけ少なく、内容は簡潔にする。

## 4 設問案 別添参照

## 5 アンケートの実施方法

- (1) ろう者  
県聴覚障害者協会では会員等からの回答のとりまとめをお願いしたい。
- (2) 手話関係者
  - ア 手話通訳者、手話奉仕員  
県がアンケートを送付するので、ファックス・メールで回答をお願いしたい。
  - イ 全国手話通訳問題研究会鳥取支部  
全通研鳥取支部で会員からの回答のとりまとめをお願いしたい。
  - ウ 手話サークル  
県サ連（又は各サークル）で会員からの回答のとりまとめをお願いしたい。
- (3) 県民  
県政参画電子アンケート

**「手話に関するアンケート」設問案【対象：ろう者】**

(コミュニケーション上の配慮)

(問1) 職場、行政機関、病院など社会生活の場面で、手話を言語として使用する方々に対して、コミュニケーション上の配慮(手話、筆談、字幕など音声以外のコミュニケーション対応)がなされていると思いますか?

- ① 十分配慮されていると思う
- ② 一定程度配慮されていると思う
- ③ 全く配慮されていないと思う

(手話への理解がないために辛かったこと、困ったこと)

(問2) 過去10年以内に、あなたが経験した「聞こえる人が手話を知らない、手話への理解がないために辛い思いをしたこと、困ったこと」のうち、一番印象に残っていることを教えてください。

(嬉しかったこと)

(問3) 過去10年以内に、あなたが経験した「聞こえる人の対応で嬉しかったこと」のうち、一番印象に残っていることを教えてください。

※回答者の年代(①30歳未満、②30代～50代、③60代以上など)と性別も尋ねる

**「手話に関するアンケート」設問案【対象：手話通訳者等】**

(コミュニケーション上の配慮)

(問1) 職場、行政機関、病院など社会生活の場面で、手話を言語として使用する方々に対して、コミュニケーション上の配慮(手話、筆談、字幕など音声以外のコミュニケーション対応)がなされていると思いますか?

- ① 十分配慮されていると思う
- ② 一定程度配慮されていると思う
- ③ 全く配慮されていないと思う

(手話への理解がないために辛かったこと、困ったこと)

(問2) 過去10年以内に、あなたが見たり、聞いたりした「聞こえる人が手話を知らない、手話への理解がないためにろう者が辛い思いをしたこと、困ったこと」のうち、一番印象に残っていることを教えてください。

(聞こえる人の対応で嬉しかったこと)

(問3) 過去10年以内に、あなたが見たり、聞いたりした「ろう者に対する聞こえる人の対応で嬉しかったこと」のうち、一番印象に残っていることを教えてください。

(手話通訳等の中で困ったこと)

(問4) 過去10年以内に、あなたが経験した「手話通訳又は手話学習を行う中で困ったこと」のうち、一番印象に残っていることを教えてください。

※回答者の年代(①30歳未満、②30代～50代、③60代以上など)と性別も尋ねる

**「手話に関するアンケート」設問案【対象：県民】**

**(コミュニケーション上の配慮)**

(問1) 職場、行政機関、病院など社会生活の場面で、手話を言語として使用する方々に対して、コミュニケーション上の配慮(手話、筆談、字幕など音声以外のコミュニケーション対応)がなされていると思いますか?

- ① 十分配慮されていると思う
- ② 一定程度配慮されていると思う
- ③ 全く配慮されていないと思う

**(必要な取組)**

(問2) 手話を使用する方が不自由なく社会生活を送るために、こういったことに取り組む必要があると思いますか?(複数回答可)

- ① 聞こえる人が手話を学習し、手話に対する理解を深める
- ② 手話通訳者を増やし、様々な場面でいつでも手話通訳者を同行できるような体制を整備する
- ③ 聞こえないことで社会生活上どんな不便があるのかを学び、手話学習、筆談対応などそれぞれが自分なりにできることを考えて実践する
- ④ 特段取り組む必要はない
- ⑤ その他( )

**(手話学習)**

(問3) 手話を学習してみたいと思いますか?

- ① 思う
- ② 思わない

**(理由)**

(問4) 問3で「思う」と回答した方に質問です。手話を学習したい理由は何ですか?(複数回答可)

- ① ろう者とコミュニケーションをとってみたいから
- ② 面白そうだから
- ③ 教養として身につけたいから
- ④ 知人、友人が手話を学習しているから
- ⑤ その他( )

**(自身が目標とする手話習熟度)**

(問5) 問3で「思う。」と回答した方に質問です。手話を学習する場合、目標とする習熟度はどのレベルですか?

- ① あいさつ・自分の名前が手話表現できるレベル
- ② “単語”でカタコトの意思疎通ができるレベル
- ③ “簡単な文章”で日常会話に関する意思疎通ができるレベル
- ④ スムーズに日常会話ができるレベル
- ⑤ 日常会話にとどまらず、何でも手話で意思疎通できるレベル

**(手話講座)**

(問6) 問3で「思う。」と回答した方に質問です。どれくらいの頻度で学習したいと思いますか?(研修会、手話サークル等への参加だけではなく、自宅学習も含みます。)

- ① 毎日
- ② 週に2~3回程度
- ③ 週に1回程度

- ④ 月に1回程度
- ⑤ 2ヶ月に1回程度
- ⑥ 6ヶ月に1回程度
- ⑦ 1年に1回程度

(手話学習教材)

(問7) 小・中学校及び高等学校に在籍するすべての児童生徒に「手話ハンドブック(入門編)」が配布されたことをご存じですか?

- ① 知っている
- ② 知らない

(子ども達に期待する手話習熟度)

(問8) 小・中学校及び高等学校に在籍するすべての児童生徒に期待する手話の習熟度はどのレベルですか?

- ① あいさつ・自分の名前が手話表現できるレベル
- ② “単語”でカタコトの意思疎通ができるレベル
- ③ “簡単な文章”で日常会話に関する意思疎通ができるレベル
- ④ スムーズに日常会話ができるレベル
- ⑤ 日常会話にとどまらず、何でも手話で意思疎通ができるレベル

※回答者の年代(①30歳未満、②30代～50代、③60代以上など)と性別も尋ねる